別紙（参考様式）

令和8年度　体育に関する指導改善計画

三原市　　立　　第一　　中学校

令和7年度の重点課題

○ 新体力テストの総合評価の
AB率 29.2%、DE率 37.5%である。
（AB-DE）率－8.3%

○ 第2学年の男女とも、全ての種目（女子の反復横跳びを除き）県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の質問に対し、男子14.28%、女子23.33%が否定的回答を行っている。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○ 体育の授業の導入部分で行う補強運動の充実。

○ 長距離走の単元時に、インターバルトレーニングの実施。

○ 「球技」領域の授業の導入で、オーバースローでのフォーム確認。
肩甲骨を意識した補強運動の実施

○ 部活動顧問と連携し、課題克服トレーニングの実施。

○ 球技大会や運動会への取組を通して、運動への関心・意欲の向上を図った。

○ 2回目の体力テストを実施。検証、計画、次年度に向けた目標設定を行い、主体性を育みながら意識の向上を図った。

令和8年度新体力テストの結果　県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	31.09	22.27	45.36	48.09	59.45		8.49	191.73	17.17	35.82

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	24.00	23.40	49.60	49.40	47.50		9.26	159.60	14.10	49.60

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果　県平均値（令和8年度）・全国平均値（令和7年度）との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R８）を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	54.55	27.27	9.09	9.09

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	30.00	40.00	20.00	10.00

学校独自の意識調査

重点課題

情意面での課題

【男子】
・運動やスポーツをすることが好きの質問に対し、否定的回答の割合が18.18%（2名）である。

【女子】
・運動やスポーツをすることが好きの質問に対し、否定的回答の割合が30.00%（3名）である。

体力面での課題

【男子】
・「筋力」と「柔軟性」は広島県及び全国平均を上回ったが、他の種目は低い値となっている。

【女子】
・「全身持久力」と「走力」「瞬発力」が広島県及び全国平均に届いていない。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○ 正しい「走動作」の習得および実際の「走運動」の継続的な実施をおこなう。
・ 陸上競技単元における「走動作」の理解と「自己に見合った効率的なランニングフォーム」の獲得を図る。
○ 単元や領域を横断的に取り組める「補強運動」を実践する。
・ 友達との関り、協働的要素、達成感を感じられる内容を取り入れる。
○ 運動やスポーツをすることが楽しいと感じられ、その必要性を実感できる授業を展開する。
・ 体育理論や保健領域においても、必要性の理解と実践能力を育む。

体育の授業以外で行う取組内容

○ 運動会や球技大会といった体育的な行事への取組を通じ、目標に向かって体を動かしていくことの心地よさや楽しさ、達成感の獲得をめざす。
○ 校内の運動部活動、文化部活動が連携し、オフシーズン期における合同トレーニング等を実施する。
○ 2回目の体力テストを実施。検証、計画、次年度に向けた目標設定を行い、主体性を育みながら意識の向上を図る。

令和9年度の重点目標値

○ 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
○ 「立ち幅跳び」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
○ 運動やスポーツをすることが好きと答える生徒の割合を、男子は70.0%，女子は50.0%以上にする。
○ 特別支援学級所属生徒の「運動やスポーツをすることが好き」の回答を「肯定的評価」となるようにする。